

文学部 人文科学科 アセスメント・チェックリスト

文学部人文科学科の学位授与水準(DP)

DP1: 専門分野に関して十分な学識を身につけるとともに、「人間とは何か」の観点から、人類の歴史、社会、文化及び思想に関して幅広い関心を持ち、知識を習得することができる。
DP2: 修得した知識を手段として、自己および自己を取り巻く環境が直面する問題を的確に理解し、対処することができる。
DP3: 日本語ないし外国語を用いて、文献・資料を正確かつ批判的に読み解き、要点をつかむことができる。
DP4: 日本語ないし外国語を用いて、自分の主張をまとめ、口頭または文章にて論理的かつわかりやすく提示することができる。
DP5: 情報通信技術を活用し、多様な情報を収集、選別し、問題解決に役立てることができる。
DP6: 人間の多様性を認め、自分とは意見を異にする他者の主張に耳を傾け、理解に努めるとともに、自分の立場を明晰に説明できる。
DP7: 市民として、他者と協調しながら、社会をよりよいものとしていくために積極的に関与できる。
DP8: 生涯にわたってさまざまな事柄に関心を向け、学び続けることができる。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月, 1月	毎年	2~4年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し、教員に教育方法改善の指針を与える。	文学部
2	成績評価	4月, 9月	毎年	2~4年生	・成績の点検	学修簿	文学部学生指導関係教員	成績をもとに履修指導を行う。	文学部 人文科学科
3	1, 3年次学修状況調査※	10~12月	毎年	1, 3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革を行う際の参考とする。	総合IR室
4	卒業時調査	2~3月	毎年	4年生	・カリキュラム, 卒業研究の満足度等 ・DPの達成度	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム及び学習環境を改善する際の参考とする。	文学部
5	卒業生調査(OB/OG調査)※	9~1月	毎年	卒業後5,10,15年目の卒業生	・大学教育の有用性と現在の状況	質問紙	卒業生	教職員に開示してカリキュラム改革及び学習環境の改善を行う際の参考とする。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	数年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	文学部学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合は開講科目数を含め、いずれかを調節する。	文学部 人文科学科

※ 大学IRコンソーシアムによる共通アンケートとして実施するもの。

(大学IRコンソーシアム: 平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」(GP)に採択された「相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出—国公私立4大学IRネットワーク」を、発展的に継承するために設立された組織。 <http://www.irnw.jp/index.html>)